

主催：文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業・筑波大学『次世代の地域医療を担うリーダーの養成』

共催：筑波大学 人間総合科学研究科看護科学専攻★附属病院看護部★附属病院チーム医療教育推進室

未来医療GPワークショップ

こんなときどうする？

患者が訴える症状へのアプローチ

～すべての医療職に求められる初期対応～

目の前で、患者さんの具合が悪くなった時、 あなたは自信を持って適切な対応が取れますか？

医療者にとって最も不安の大きい場面とは、「患者の異変に出会うこと」といわれます。

ケイちゃん

その時、医療者は素早く必要な情報を集め、重症度を判断して、適切な対応を取らなければなりません。また、医師に連絡するタイミング—今すぐに医師を呼ぶべきなのか、あるいは今日中の報告でいいのか—その場で判断しなければなりません。

本セミナーは、医療現場で出会うことの多い「症候」に対し、ケーススタディ方式で学びます。具体的には、症例の最初の情報を提示して、その場面で医療者は何を考え、どのように情報を集め、どう動くべきか、受講者がディスカッションしながらその対応を身につけていきます。

対象は、医師以外の医療職、学生（医学生を含む）です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



イメージ・キャラクター
ジェネラルT先生



開催案内

日程：平成26年10月20日(月)
～12月 8日(月)
全4回（1回だけの参加も可能です）

対象者：医師以外の医療職、
学生（医学生を含む）

参加費：無料（定員・各回100名）

講師：前野 哲博 先生(筑波大学教授 附属
病院総合診療グループ長／総合臨床教育センター部長)

会場：筑波大学医学エリア
共同利用棟B 2階 講義室1（案内図参照）
*参加ご希望の方は、当日直接会場にお越しください

お問合せ先：筑波大学附属病院
総合診療医養成事業推進支援室

E-mail：mirai.iry@un.tsukuba.ac.jp
電話：029-853-3339（担当：早川・稲葉）
http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/mirai_iry/

プログラム（予定）

注意：開始時間が各回異なります

- ★第1回 10月20日(月)・28日(火)
13:00～（どちらの日程も同じ内容です）
13:00～13:45 総論
13:45～15:00 各論1：胸痛
15:00～15:15 休憩
15:15～16:30 各論2：腹痛
- ★第2回 11月6日(木) 17:30～
17:30～18:40 各論3：めまい
18:40～18:50 休憩
18:50～20:00 各論4：失神
- ★第3回 11月14日(金) 17:30～
17:30～18:40 各論5：発熱
18:40～18:50 休憩
18:50～20:00 各論6：頭痛
- ★第4回 12月8日(月) 14:00～
14:00～15:10 各論7：動悸
15:10～15:20 休憩
15:20～16:30 各論8：呼吸困難



レンくん



共同利用棟Bまでのアクセス(案内図)



A 本院の駐車場利用または筑波大学附属病院行のバスに乗った場合

B 「筑波大学中央」または「筑波大学循環(右回り)」行のバスに乗り、筑波大学病院で降りた場合

C 概いし「追越学生宿舎前」で降りた場合

筑波大学
附属病院